モットー「楽しき中にも規律あり」**トップより先に歩かない。間隔を開けない。**アンカーより後にならない。

一般組　　2020年 10月 18日

**各　位**　　松愛会 兵庫東歩こう会

## 第279回例会「亀の森・早苗の森」 ご案内

都会のターミナルからちょっと離れたところに憩いの場所があります。歩いて訪れたいと思います。

**記**

**集合日時**：2020年　**１１月１７日**（火）　**１０時００分**　　受付開始：９:３０

**集合場所**：大阪モノレール 本線「**大 阪 空 港 駅**」 改札口　**トイレは駅構内で**

**雨天対応**：気象庁のホームページ（URL：http://www.jma.go.jp/jma/index.html）または NTT の天気予報(06+177)で、大阪府の例会前日の１７時に発表される、翌日の予報で 06－12 時、12－18 時のいずれかの降水確率が 50%以上のときは中止とします。

**コロナ対応**：**兵庫東歩こう会「コロナ対応」ルールをお守りください**

**コ ー ス**：大阪モノレール 大阪空港駅～亀の森(住吉神社)～駒の森(十二神社)～弁慶の泉～早苗の森(八坂神社)～呉服神社～川西能勢口駅(解散)

歩行距離：8.1㎞、所用時間：3h35min、標高差：ほとんどなし　　難易度：★★

**服　　装**：長袖シャツ、長ズボン、手袋、帽子、長距離歩ける靴

**持 参 物**：**弁当**、おやつ、飲料水、敷物(椅子)、タオル、雨具、

**費　　用**：５００円（参加費）

**保　　険**：歩こう会で発生した事故については会として一切責任は負えません。各自の責任のもとに対応をお考えください。万一のことを考えまして団体傷害保険には加入しています。

**電車案内**:阪急電車･大阪モノレール

| 阪急 宝塚線 | | | | モノレール | | 阪急 宝塚線 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 梅田 | 十三 | 蛍池 | | 空港 | | 宝塚 | 能勢口 | 蛍池 |
| 急行宝塚 | 9:10 | 9:13 | 9:23 | 9:34 | 9:37 | 梅田 | 9:00 | 9:13 | 9:20 |
| 急行宝塚 | 9:26 | 9:23 | 9:33 | 9:43 | 9:46 | 梅田 | 9:10 | 9:23 | 9:30 |

**みどころ**：

**亀 の 森** 住吉神社：社伝によりますと、第十五代応神天皇の頃、忽然として亀形の小島が現われてより次第に土地が開け、第四十九代光仁天皇の御代、ある夜、里人の夢に「吾ハ住吉大神ナリ、汝等、吾ヲ信ズル者ハ、白箭（矢）ノ止ル処ヲ見ン」というお告げがありましたので、翌朝、里人等が集って、森に来てみると果して、お告げの通りでした。豊島郡（今の豊中市、池田市の地域）の総鎮守、大産土神(うぶすなのかみ）として崇敬されてまいりました。池田市 HP より

**弁慶の泉** この泉は別名「北今在家の清水」と呼ばれていて、近くを流れる箕面川の伏流水が湧き出ていると伝えられています。1185 年(文治元年)、追われる身となった源義経が西国街道を逃れて現在の尼崎に行く途中、義経とともに奮戦した武蔵坊弁慶がこの泉で「のど」の渇きを潤したと伝えられているとのこと。

**早苗の森** 八坂神社：早苗の森の神田の宮と呼ばれている。 円融天皇の天元元年（９６８）の創建と言う。天正七年（１５７９）荒木村重討伐の兵火に罹り、社殿は焼失、慶長十五年（１６１０）池田備後守光重の子が再建した。牛頭天王と称し、明治末期に近隣の春日神社「春日大神」、字小西の九頭神社「大蛇神」を合併し境内に遷した。のち、十二社神社をも本殿に合祀したが戦後まもなく復帰していった。本殿は檜皮葺の一間社流造で、梁間を 2 間とする。慶長 15 年に池田光重によって再建されたもので、装飾化された蟇股や木鼻等に桃山時代の特色があり、当地方に数少ない遺構として昭和４６年に重要文化財に指定された。

**連絡事項**：**コース途中からの参加、途中からの帰宅、コースを外れた個人行動は一切お断りします。**

**受け付け**:当日、現地で参加の受付、参加費をいただきます。

［**問合せ先**］　甲斐、松井